

# 平成 27 年度 学校法人 三幸学園 東京未来大学福祉保育専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 小川孝裕

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 村上 長彦

## 1. 学校の教育目標

### 【教育理念】

技能と心の調和

### 【育成する人材像(学園目標)】

素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで社会に貢献する人材

### 【育成する人材像】

- (1)「人間力」・・・ 共感力、信頼、誠実、責任感
- (2)「行動力」・・・ あいさつ、報連相、立ち居振る舞い、そうじ、遅刻しない、休まない
- (3)「現場力」・・・ 実践力、知識力、資格力

## 2. 27年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1)広報目標（通学140名:保育科 80 名、介護福祉科 60 名）
- (2)生徒指導目標（人間力の基礎づくりー挨拶・清掃・授業一、精皆勤率80%以上、退学率5%以内）
- (3)教員目標(①あいさつ②環境設定③)授業アンケート数値目標平均4. 0以上)

### ① 重点施策振り返り

- 1) 保育科は定員73名を超えて 82 名の入学者があったが、介護福祉科は 25 名(内委託生 4 名)と大幅に下回った。介護福祉科は世間の3K イメージが強く、世の中の景気が悪くない中で、全国的に福祉に目を向ける人が少なく厳しい状況である。
- 2) 全体の精皆勤率は23%と当初想定した以上に低かった。年間を通して「休まない」という意識を続けていくことが必要である。
- 3) 退学率は89. 7%と目標を割ったが、学科別に見ると、保育科97. 2%、介護福祉科41. 2%であった。
- 4) 授業アンケート結果 2 回の平均は3. 9と 1 年目の学校としては検討したが、教員の教育力維持のためには最低4. 0は超えていきたい。

### ② 学校関係者評価委員会コメント

- ・学校として、育てた学生が就職に対して夢を持てるよう、待遇、処遇が良くなるよう発信して欲しい。
- ・困難な世の中で頑張ってもらいたい

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1). 教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	③ 3 2 1

#### ① 課題

1)入学前に学校の理念や育成する人材像は紹介しているものの、継続的、且つ保護者への案内に至るまでの浸透度は低い。

#### ② 今後の改善方策

1)ポスター等の校内掲示、会議やHR等で発信することを意識し目と耳から浸透させるよう努める。

#### ③ 特記事項

特になし

#### ④学校関係者評価委員会コメント

- ・保育士も、介護福祉士も卒業して入職してからはやめる人が多いので厳しいのではないかと。
- ・就職先の現場では、働く職員の現状や、研修の中で伝える場を作っていく必要がある。
- ・三幸学園がもっと良いイメージを発信してほしい。
- ・大学生に負けないう、経営を担う人材を育成してほしい。

#### (2). 学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	⑤ 3 2 1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 ② 1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

#### ① 課題

1)開校2年目の学校で新しく採用した教員が多く、理念・方針の理解度が弱い。

#### ② 今後の改善方策

1)年2回の全体会議でしっかりと伝え、継続して実践できる環境を整える。

③ 特記事項

特になし

⑥ 校関係者評価委員会コメント

・見捨てず、あきらめず、言い続けて伝えてください。

(3). 教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	②	1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

① 課題

- 1) 学外(産業界)との繋がりはあるが、意見を聞き、活用することが弱い
- 2) 教職員間の報告・連絡・相談・確認・連携が弱い

② 今後の改善方策

- 1) 副校長が外部団体や関係施設との連携活動へ積極的に参加し、情報を収集するとともに、ネットワーク作りを強化する。

③ 特記事項

特になし

⑦ 校関係者評価委員会コメント

- ・他の専門学校よりは良いのではないか。
- ・心の部分は行事から学ぶ事も多いので、引き続き強化してほしい。

・社会人基礎力は重要。

#### (4). 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
退学率の低減が図られているか	4 3 ② 1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 ② 1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 ② 1

##### ① 課題

1)退学率低減に向けた対策は行われているが、実際に数値結果を出せていない。

##### ② 今後の改善方策

1)各クラス状況を担任会議にて共有し、学校全体で対応にあたると共に早期対応を心がける。

TT指導や新任担任指導などで出た問題を複数の教師が把握し、新任担任のサポートができるようにする。

2)平成 29 年 3 月の一期の卒業生輩出に向けて、卒業生の活躍状況やキャリア形成への効果等を把握するための方法を引き続き検討していく。

##### ③ 特記事項

特になし

##### ④学校関係者評価委員会コメント

・特に介護福祉科の退学者数が減るようにしてください。

#### (5). 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
中途退学者への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
卒業生への支援体制はあるか	4 3 ② 1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

##### ① 課題

1)学費応援制度などの体制は整っているが、学費を延納している生徒への早期連絡や返済方法の相談など

は、都度対応となっている。

2) 卒業生との繋がりに対する体制の整備をする。

② 今後の改善方策

1) 毎月、学費の納金状況を経理担当より報告をさせて、手遅れになる前に指導・相談が出来るようにする。

2) 卒業生が学校に近況報告をしたくなるような関係性(信頼関係)や雰囲気をつくる。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・卒業後、足立区内の施設で保育士として働くと、いづらか戻ってくる制度が出来た。
- ・卒業後、一人暮らしをしながら足立区内の施設で保育士として働くと家賃補助がある制度が出来た。
- ・福祉分野もあると良い

### (6). 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

① 課題

1) 実習先との関係づくりを強化したい。

② 今後の改善方策

1) 実習巡回や訪問を強化して強い関係を築き、実習の事前事後指導に活かす。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・避難訓練はやっているか？ 教員向けは実施済み。
- ・避難経路は学生に周知されているか？
- ・保育園は、避難訓練 1回/月、引き渡し訓練 1回/年を行う。

### (7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	③	2	1
入学選考は適正に行われているか	④	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

① 課題

1) 生徒の中には入学前と入学後のギャップが大きく生じている者がいる。

② 今後の改善方策

- 1)初めて学校に足を運んでくれた高校生に対して、パワーポイントを使用して説明することにより情報の伝達漏れを防ぐとともに当校の理念や風土をしっかりと伝える。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・介護福祉科は募集上の問題でなく、仕事に対する負のイメージが強いことが問題。

(8). 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

- 1)学費の未収入金が毎年のように発生している

② 今後の改善方策

- 1)定期的に学費の納金状況を確認し、延滞が重なる前に対応し除籍者をなくす。

③ 特記事項

特になし

④学校関係者評価委員会コメント

- 次年度は学園で出すのか、学校単体で出すのか？

(9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	③	2	1
自己評価結果を公開しているか	4	3	②	1

① 課題

- 1)自己評価は出来ているが、公開は出来ていない。

② 今後の改善方策

- 1)学園として今後どのような形で公開をしていくか検討していく。

③ 特記事項

特になし

④学校関係者評価委員会コメント

- ・問題点の改善、課題解決に努め、自己評価結果を公開してください。

## (10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

### ① 課題

1)生徒のボランティアに関して、全てを管理・把握できていない

### ② 今後の改善方策

2)活動予定や内容を学校側が把握し支援体制を整える。

### ③ 特記事項

特になし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・地域の活性化に向けて、ボランティア活動は積極的に取り組んだ方が良い。

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

当校は平成27年4月に開校したばかりのため、学校運営や教育の質の向上に向けての体制づくりを始めたばかりで、全教職員が統一した認識を持ち、行動がとれるよう浸透させていくことが重要になってきます。

他の職場を経験した新しい教職員が増えた為、情報の共有と共に、理念の浸透を意識して取り組む必要があります。2学年が揃い、同学年間、異学年間の教職員がコミュニケーションを密にとり、きめ細かい生徒対応や問題に対する早期発見と対応が図られるよう心がけていきたい。